

東証一部6848

IR会社説明会

東亜ディーケーケー株式会社

取締役副社長 玉井 亨

1. 会社概要(経営理念・経営ビジョン、沿革、事業の説明)
2. 業績の推移(売上高・経常利益の推移、財務比率等)
3. 第3四半期決算サマリー及び平成28年3月期業績予想
4. 配当推移と平成28年3月期配当予想(配当方針)
5. 第1次HYBRID経営計画(中期経営計画の改称)
6. 最近のトピックス

会社概要



会社名	東亜ディーケーケー株式会社
代表取締役社長	佐々木 輝男
所在地	東京都新宿区高田馬場一丁目29番地10号
設立	1944(昭和19)年9月19日
従業員数	連結 589名 単独 352名 (平成27年3月末現在)
業績	売上高140億円 経常利益12.8億円 (平成27年3月期・連結)
事業内容	計測機器事業・不動産賃貸事業
営業拠点	札幌 仙台 千葉 横浜 静岡 名古屋 大阪 岡山 広島 山口 高松 北九州 長崎
資本金	18億4,248万1千円 (平成27年3月末現在)
連結子会社	山形東亜DKK 岩手東亜DKK アリス東亜DKK 東亜DKKアナリティカ バイオニクス機器 東亜DKKサービス

経営理念

『誠実・創造・挑戦』をモットーに地球環境保全と豊かで人にやさしい社会環境の実現に貢献します。

経営ビジョン

“環境開発型企業としての技術立社”をめざし、卓越した独自技術である“電気化学センサ技術”の更なる研究と新たな製品開発による社会貢献を行います。

沿革：平成12年10月に合併して誕生



東亜電波工業
1944年(昭和19年)創立

卓上分野を主体とする
計測機器・医療用機器の
製造・販売・サービス



電気化学計器
1945年(昭和20年)創立

大気・環境・計測制御など
生産ライン・フィールド分野での
計測機器の製造・販売・サービス

「水・大気・ガス・医療」を柱とする
総合計測機器メーカー



東亜ディーケーケー
2000年(平成12年)設立

シナジー効果

対象市場・製品ラインナップの拡大
技術領域の拡大・深耕
営業力の強化
組織の効率化

「水・大気・ガス・医療」の計測技術を柱に
総合計測機器メーカーとしてさまざまな分野で
事業展開しています。

水

大気

ガス

医療



私たちの生活の中で多くの計測器が活躍

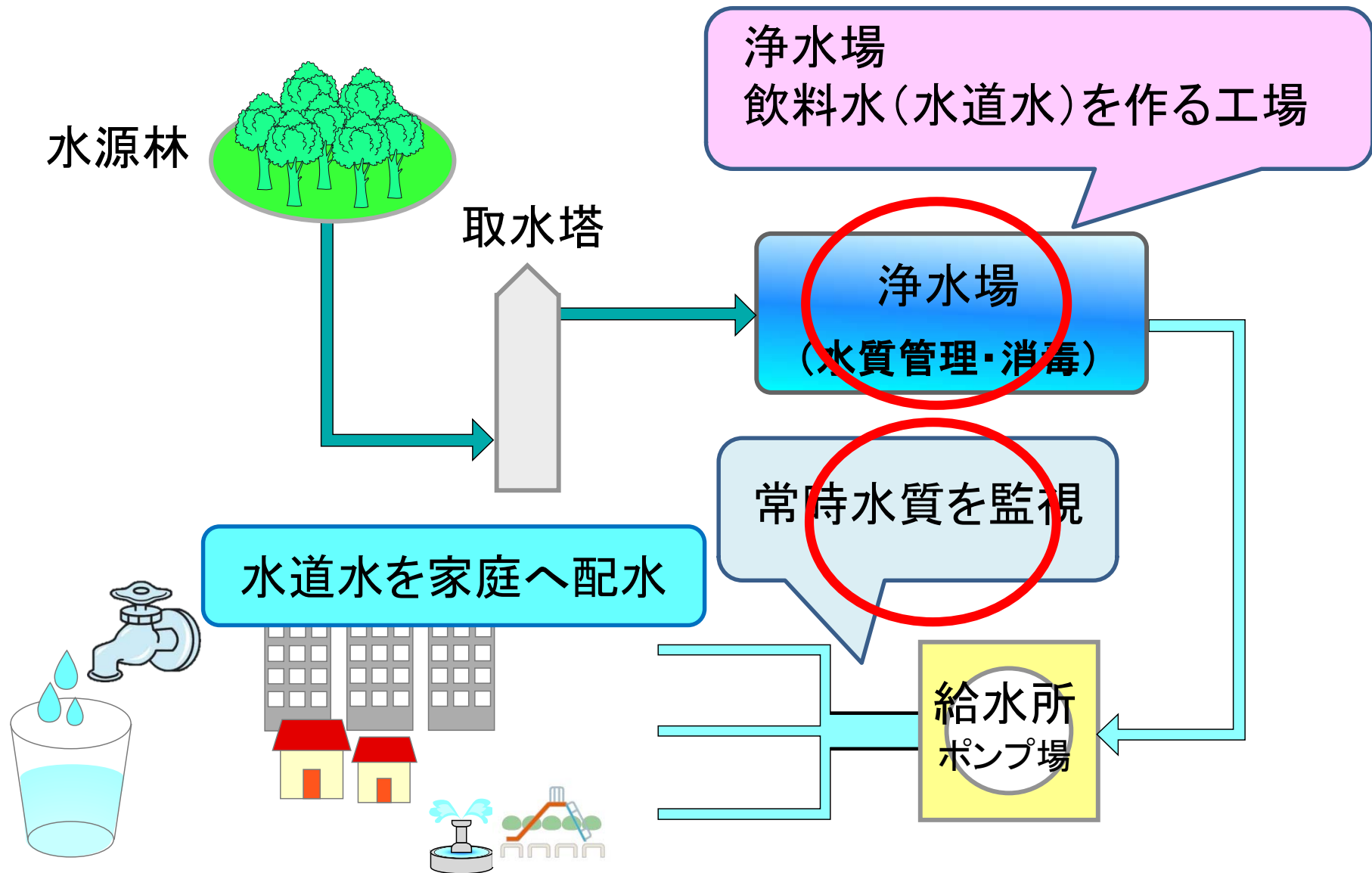
主要な市場、お客様

- 火力発電所、浄水場、下水・し尿処理場、清掃工場、半導体工場、石油・化学工場、製鉄工場、製紙工場、食品・ビール・ジュース工場、自動車工場、家電工場など

あらゆる工場がお客様

- プラント(装置)メーカー
- 重電メーカー





安全でおいしい飲料水の供給に貢献

水道水用水質自動測定装置



- ・7項目連続測定
- ・停電時72時間対応型

(MWB4-72型)

公園など公共の場所に設置され、
水道水の水質を監視しています。



ソウル市で活躍中の
水道水用水質自動測定装置
(MWB4-72型)

- ・生活排水(台所、風呂、洗濯)・し尿など
- ・産業排水

そのまま川・海に放流

川や海の環境汚染、水生生物の減少

現在では、下水・し尿を浄化する施設(下水処理場・浄化センター、水再生センター)が全国展開されており、そこで計測機器が活躍



生活排水、産業排水の増加

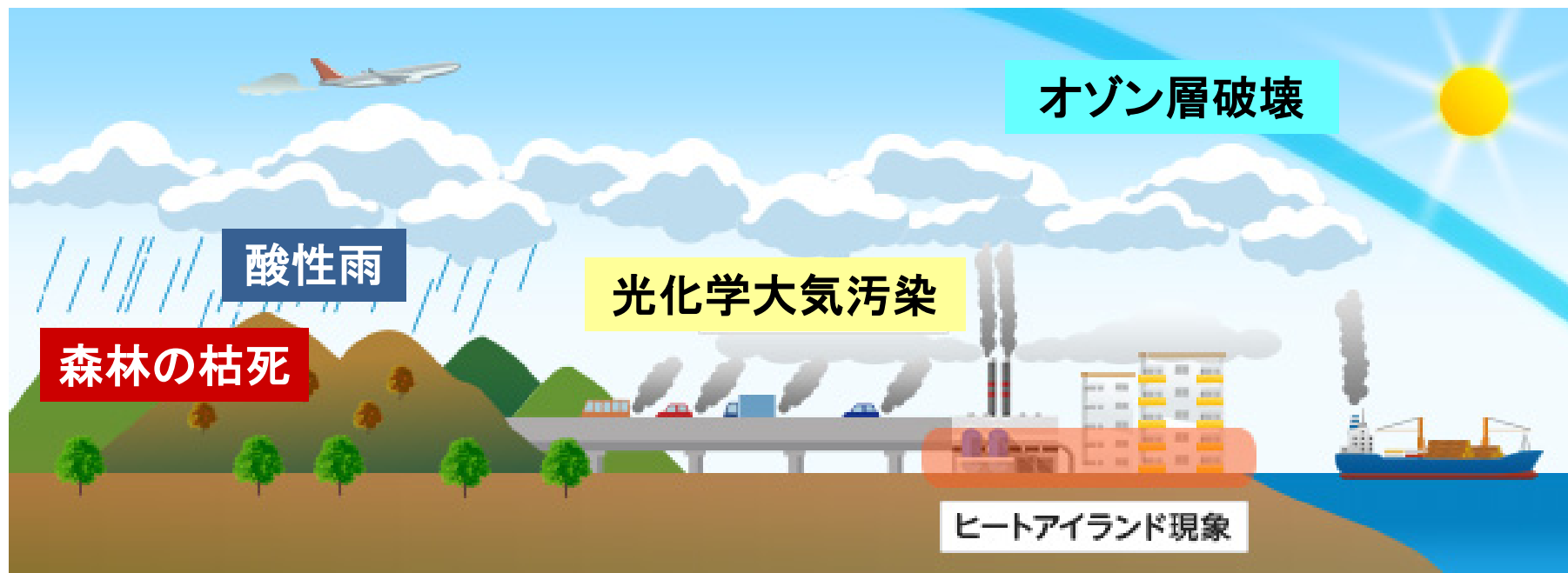
水質汚染・公害の発生

事例：アオコ、赤潮の発生、水俣病など

環境基準を達成するために、
排水基準を定める

河川・湖沼・海（湾）の
水質汚濁を常時監視





PM2.5を始め、二酸化硫黄、窒素酸化物など、身の周りの大気の汚染状態を監視します。

PM2.5測定装置



大気中SO₂SPM測定装置



環境大気移動測定車



環境大気測定用コンテナ局舎



ラボ用 分析機器

大学や試験研究機関、生産ラインの品質管理など、あらゆる分野の化学分析に使用。



ポータブル 分析計

小型・軽量でフィールド調査向け。
川や湖での水質測定に使用。



透析関連装置・・・高信頼の医療関連機器

A剤溶解装置
AHI-701



B剤溶解装置
BHI-701



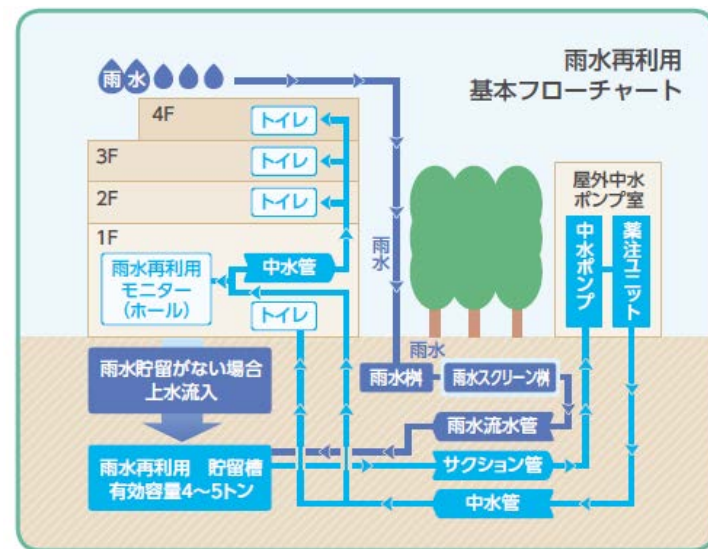
開発研究センターの紹介

開発研究センターは、環境負荷を低減するエコ設計を採用しており、当社の環境保全への社会貢献を象徴する施設として、新たな計測技術の研究と開発に取り組んでいます。

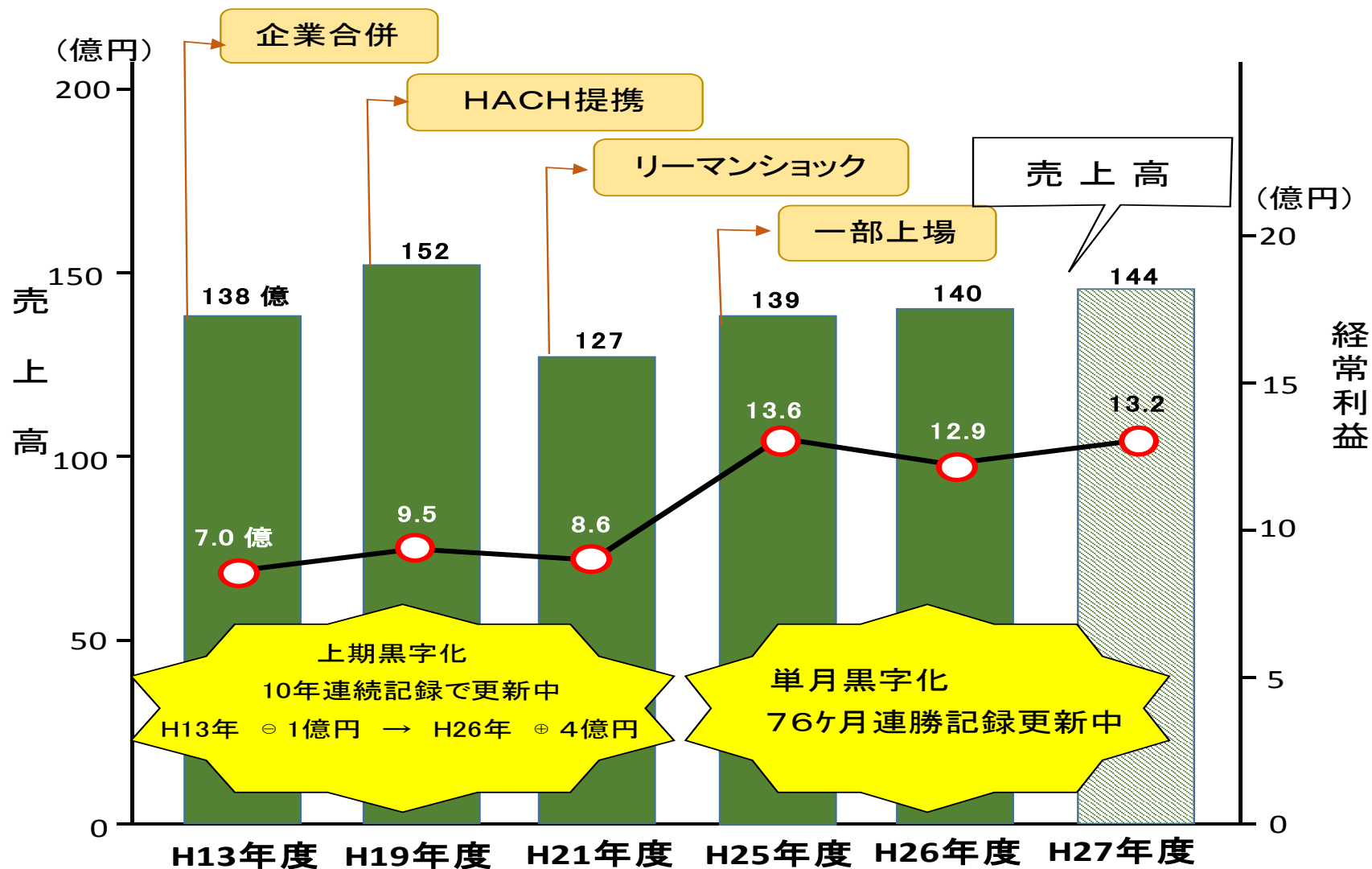


太陽光発電システム・雨水利用システム
などを採用

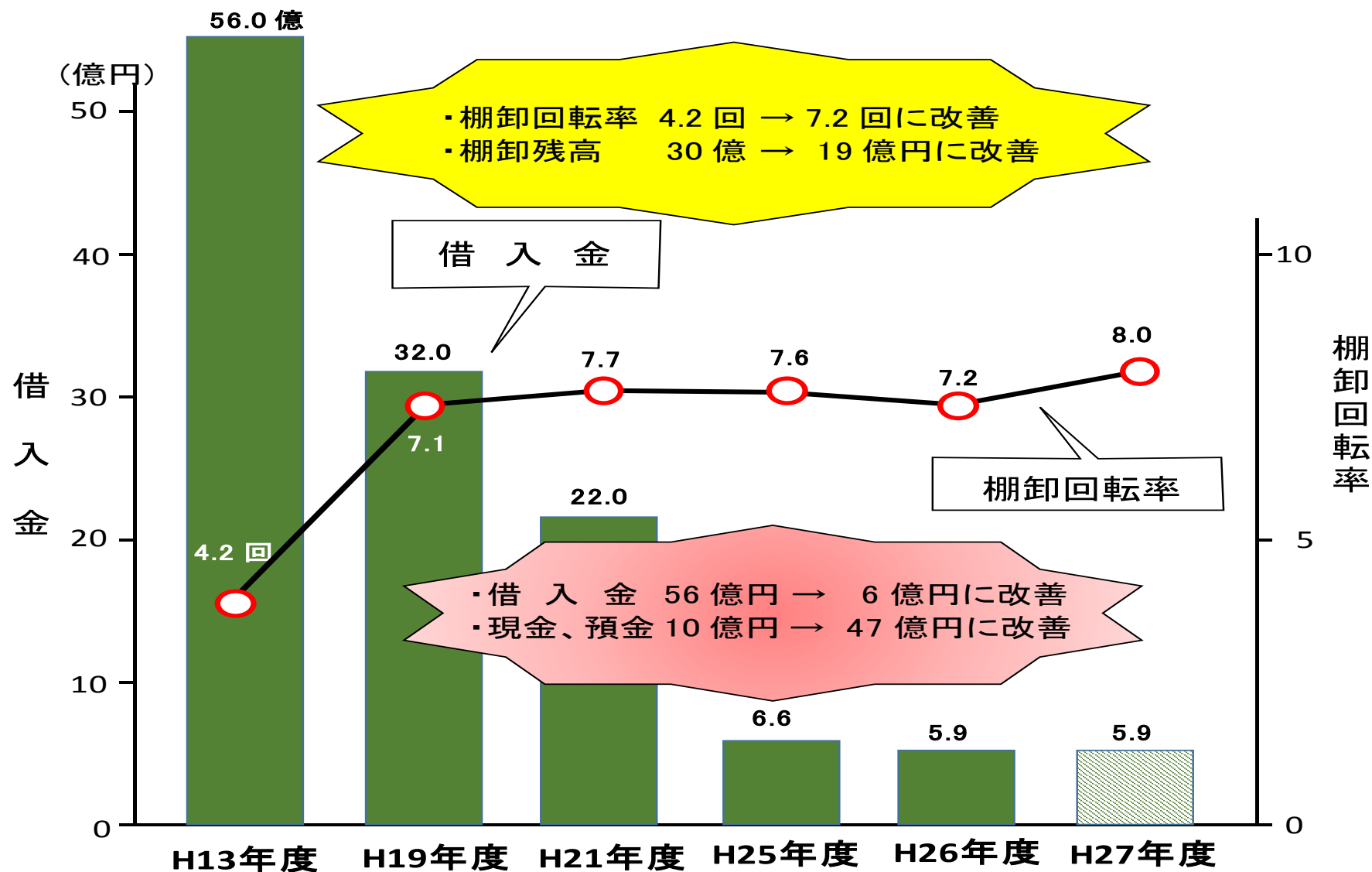
雨水利用水の水質を当社製品MWB4でモニター表示。また、センター入り口に太陽光発電による発電量をリアルタイムで表示しています。



売上高・経常利益の推移



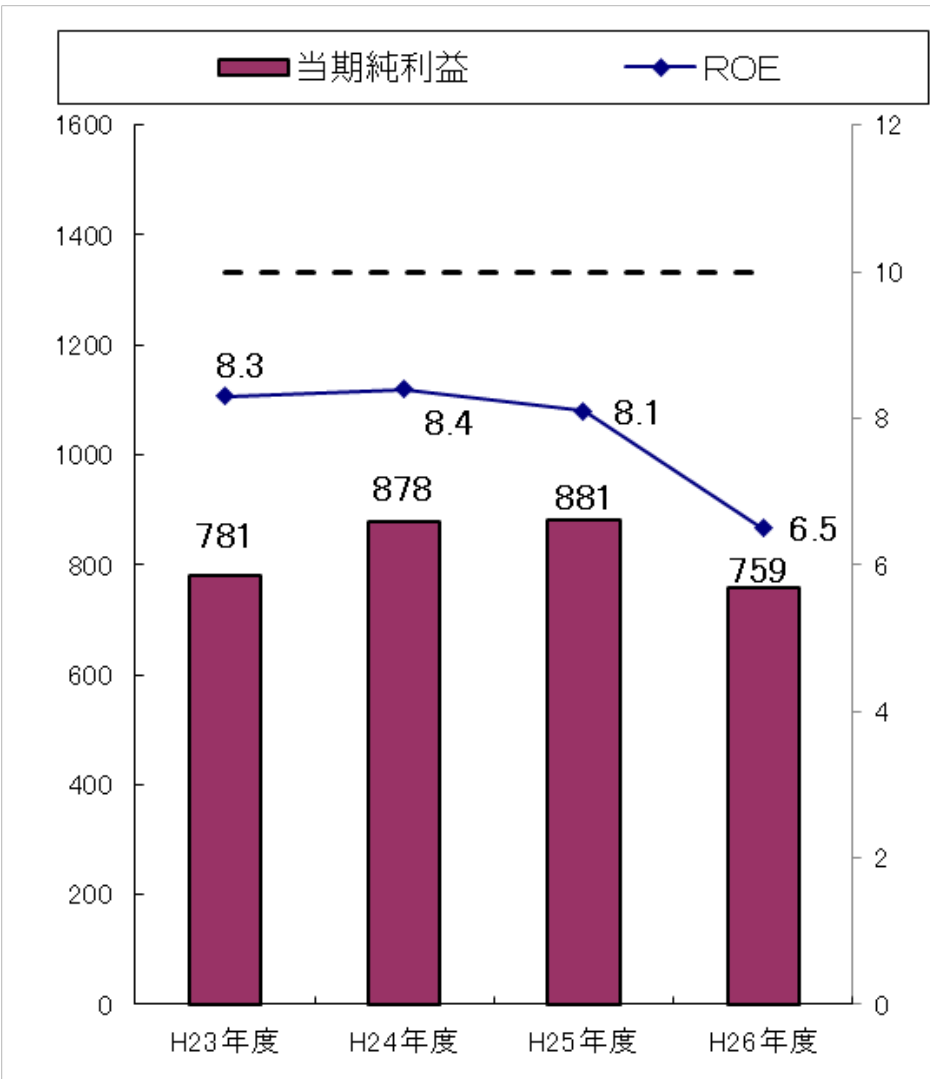
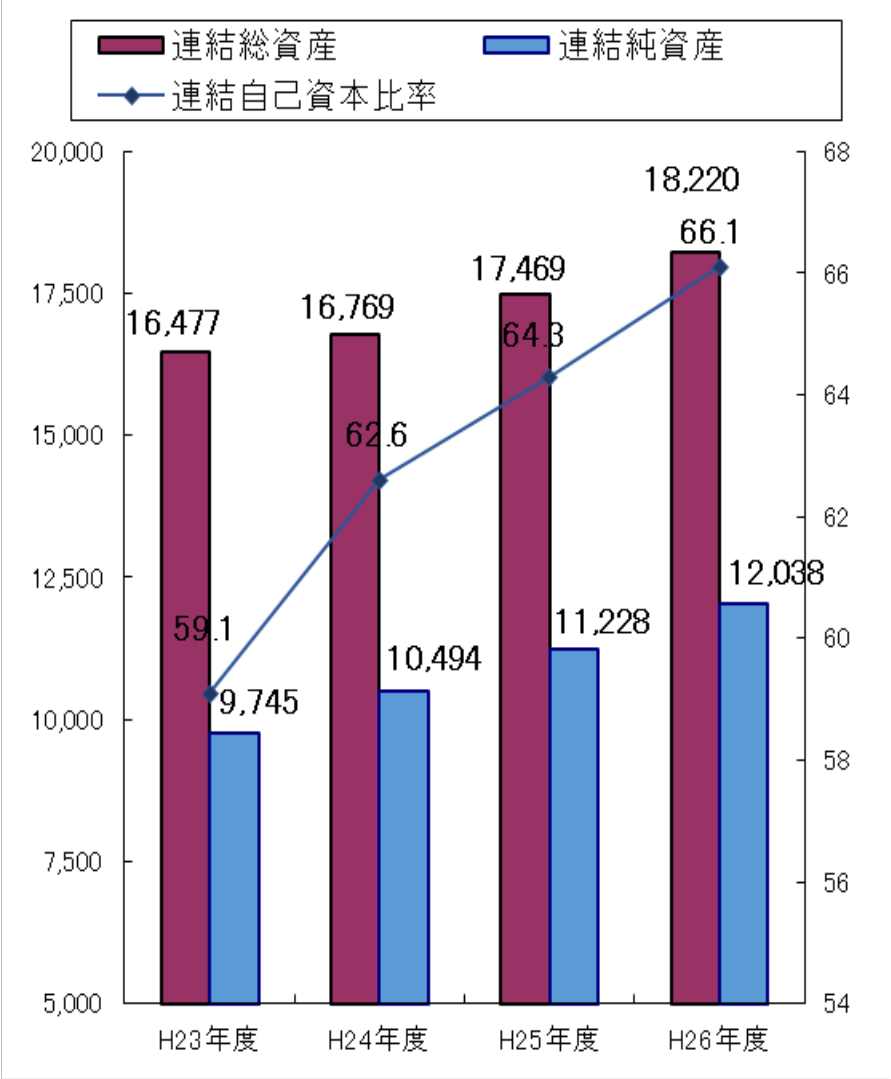
借入金・棚卸回転率推移



総資産・純資産及び自己資本比率、当期純利益及びROEの推移



(単位:百万円)



平成28年3月期第3四半期決算サマリー



- ・ 中期(3ヶ年)経営計画「HYBRID経営計画」を平成27年4月からスタート
- ・ 売上高は国内・海外ともに伸長、不動産賃貸事業増収で **100億円台** 確保
- ・ 利益は売上高拡大と売上原価率の改善で販管費の増加を吸収し大幅増益
- ・ 単月黒字化**76ヶ月**連続記録達成更新中（平成21年9月から6年4ヶ月）

（単位:百万円）

	H26.3Q 実績	H27.3Q 実績	前年同期比増減	
			金額	%
売上高	9,737	10,121	384	4.0
営業利益	622	823	201	32.3
経常利益	637	859	221	34.8
四半期純利益	378	546	168	44.5

平成28年3月期業績予想(修正なし)



- ・ 主力の環境・プロセス分析機器は、国内では環境省第5次水質総量規制時に導入した機器の更新需要に引き続き注力。海外では中国経済の総体的な減速懸念が報じられているが、中国政府当局の環境保全技術に対する監視体制整備への関心は高まっており、関係機関との更なる技術交流の深化を通じて当社固有技術を供与し業績拡大。科学分析機器は、医療関連機器分野の回復と、10月から販売を開始した卓上型水質計の新製品「Xシリーズ」で売上拡大を図る。
- ・ 当期連結業績予想は概ね堅調に推移しており、現時点では平成27年5月8日に公表の通期業績予想は修正なし。

(単位:百万円)

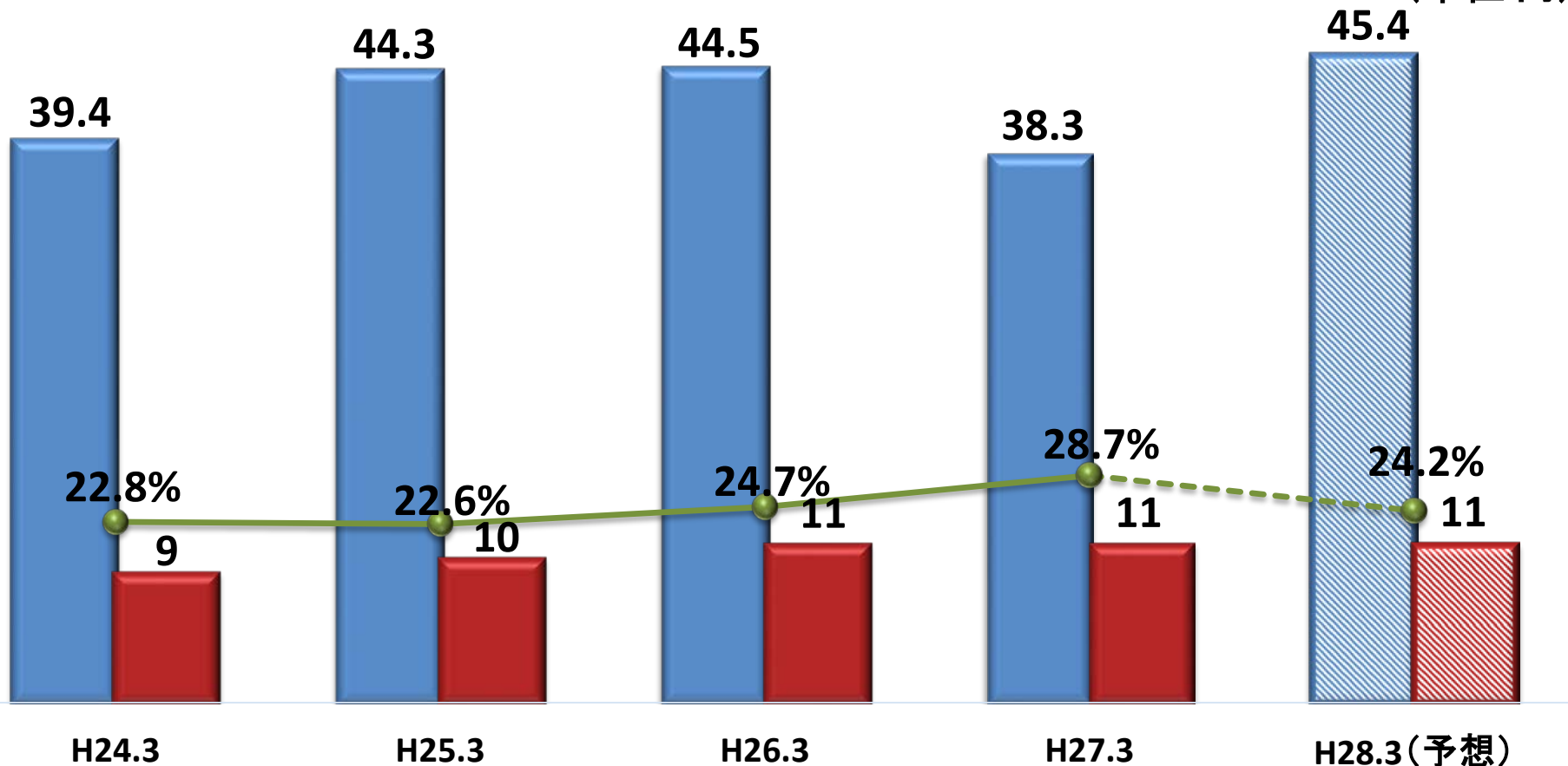
	H27.3 実績	H28.3 予想	増 減	
			金額	%
売 上 高	14,066	14,400	334	2.4
営 業 利 益	1,265	1,300	35	2.8
経 常 利 益	1,287	1,320	33	2.5
当 期 純 利 益	759	900	141	18.5

配当推移と平成28年3月期配当予想(修正なし)



当社グループは、株主様に対する利益還元を経営の最重要政策として位置づけており、利益配分につきましては、将来の事業展開に備えるため内部留保を勘案しつつ株主様には業績に応じたかつ安定的な配当を継続して参ります。

■ 1株当たり純利益 ■ 1株当たり配当金 ● 配当性向 (単位:円)



第1次HYBRID経営計画(平成27年4月～平成30年3月)

1.基本方針

「HYBRID経営計画」は、環境保全の独自技術で世界の人々に貢献するとともに、全グループ社員一人ひとりが自立型社員として経営参加し「心と強い絆」で、より強固な礎を築くための重要な3年間と位置づける。

国内事業の持続的成長、今後も市場拡大が見込まれる中国を始め海外での飛躍的成長、HACH No.1 GOAL、単月黒字化の連続達成を目指すとともに、成長を確実にするための基礎固めを行う。

第1次HYBRID経営計画(平成27年4月～平成30年3月)

2.経営指針

➤世界最高水準の頭脳集団で独自性
のある「仕事のやり方を変える」経営

- ① 独自のコア技術で世界最高水準の製品群を開発する。
- ② 独自の営業力で世界最高水準のサービスを提供する。
- ③ 企業全領域の品質(挨拶含)を世界最高水準にする。
- ④ 女性の活躍・シニアの技術を収益拡大に直結させる。
- ⑤ 国際市場でお客様に選ばれるブランド力を創造する。

第1次HYBRID経営計画(平成27年4月～平成30年3月)

3.成長戦略

- ① 開発戦略・・・開発期間を1/2に短縮し、独自製品のシリーズ化により新製品革新率25%に拡大させ財務体質を強くする。
- ② 営業戦略・・・HACHと完全融合し、中国、アジアの販売力を強化、海外売上高30%に挑戦し国際的なプレゼンスを向上させる。
- ③ 生産戦略・・・独自設備を開発し、海外に負けない生産技術力でコスト競争力をつけ、収益力拡大と最良の品質を創造する。
- ④ 品質戦略・・・全社運動で企業全領域の品質レベルを上げ、外部不良を1/2に激減させる。更に開発品認定のレベル精度UP。
- ⑤ 管理戦略・・・女性管理職拡大・シニア制度改革、若手の活躍等、ビジネス知力の高い人材を育成、未来を変える社員の拡大。

第1次HYBRID経営計画(平成27年4月～平成30年3月)

4. 経営目標値(平成29年度連結)

本中期経営計画の最終年度で、売上高15,800百万円、経常利益1,600百万円と過去最高益の達成と経常利益率10%以上を実現。

- ① 売上高 15,800百万円(内不動産270百万円)
- ② 経常利益 1,600百万円(対売上高経常利益率10%以上)
- ③ 海外売上高比率 15%以上
- ④ 自己資本利益率(ROE) 10%以上

平成27年11月 9日 PM2.5(微小粒子状 物質) 測定装置の 中国国家認証を取得



平成27年12月30日 ソウル事務所を開設



(事務所玄関)

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社
経営企画部 企画・IR課

電話：03-3202-0242

メール：ir@toadkk.co.jp

URL：<http://www.toadkk.co.jp/>